

平成30年第11回教育委員会会議録

日 時 平成30年9月27日（木）午後2時30分 開議
場 所 尾道市教育会館2階 会議室
署名委員 村上委員

午後2時30分 開会

○佐藤教育長 それでは、定刻になりましたので、ただいまから第11回教育委員会定例会を開きます。

本日の会議日程は、お手元に印刷配付のとおりです。

本日の会議録署名委員は、村上委員を指名いたします。

これより日程に入ります。

日程第1、業務報告及び行事予定を議題といたします。

業務報告及び行事予定のうち、重要な項目がありましたら、順次報告をお願いいたします。

○川齋庶務課長 教育長、庶務課長。庶務課に係ります業務報告及び行事予定について御報告申し上げます。議案集1ページをごらんください。

まず、業務報告でございます。9月3日から19日まで市議会9月定例会が開催されております。教育委員会関係の補正予算につきましては、御承認をいただいております。9月25日火曜日、教育委員会の臨時会を開催しております。10月1日付人事異動にかかわります議案の御承認をいただいております。本日27日、教育委員会定例会でございます。

行事予定でございます。9月28日、明日でございますが、平成30年度市町村教育委員研究協議会、これは文科省主催で岡山市において開催されますが、村上委員さんに御出席をいただきます。10月2日、市議会の臨時会が開会をします。15日から17日の間に市議会決算特別委員会がございます。

続きまして18日、平成30年度中国地区都市教育長会定期総会が19日までの予定で山口県下松市にて開催され、教育長が出席をいたします。この中国都市教育長会でございますが、中国5県の各市が毎年持ち回って行うという会議です。来年度はこの尾道市で開催することになっておりますので、来年度に向け準備が必要になってくる状況でございます。来月の教育委員会会議は、10月23日を予定しております。以上でございます。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。2ページを

お聞きください。学校施設整備に関する業務報告及び行事予定について御説明をさせていただきます。

まず、業務報告です。6月から着手をしておりました小中学校空調設備等整備業務についてですが、向東小学校、向島中学校の空調設備の整備が完了しましたので、この検査を今日と明日、それぞれ行う予定であります。なお、因島瀬戸田地域教育課所管の因北小学校にあつては、9月25日に既に完了検査を終了しております。

次に、9月19日着手の小中学校のブロック塀の緊急修繕についてですが、災害対応等のため契約の締結にいとまを要しておりました中学校1校のブロック塀の撤去工事、そしてフェンスの設置工事を11月末までの期間で実施することとしております。

次に、行事予定ですが、9月20日から高須小学校校舎増築工事の2期工事に向けまして設計業務委託をしております。なお、議案集の業務内容に入札という字句があります。恐れ入りますが、この入札という字句の削除をお願いいたします。この高須小学校は、児童数の増加によりまして平成26年度に6教室の校舎を増築したところですが、その後も児童数が増加しており、普通教室等が不足するため、本年度2期工事に向けまして設計業務を行い、来年度増築校舎の建設を計画しております。事業計画については以上です。

○**内海生涯学習課長** 教育長、生涯学習課長。生涯学習課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。3ページをごらんください。

まず、業務報告でございますが、9月2日日曜日にプロ野球ウエスタンリーグ、2軍でございます、公式戦カープ対タイガースを行っております。好天に恵まれました上に、地元土生翔平選手の活躍もございまして6対1でカープが勝利いたしまして非常に喜んでいただきました。入場者数は6,430人でございます。なお、ウエスタンリーグの試合終了後は子供野球教室を開くことができまして、市内の14チーム204人の子供を対象にプロ野球選手が直接野球の指導をしてくださいました。非常にこれも喜んでいただいたと思っております。

続いて、9月9日に広島県女性スポーツ推進委員研修会を掲げてございますけれども、これは東広島市で開催予定でしたが、災害のため会場が使用できないということで中止となっております。申しわけございませんが、削除していただければと思います。

続いて、行事予定でございます。10月2日、尾道市民大学講座で、なぜ事故は起こるのかという講座を行います。これは、放課後子ども教室の指導員、放課後児童クラブの指導員、教育ボランティアなどのボランティアに対する研修

会でございます。

続いて、図書館について指定管理者から報告のあった事業の報告をいたします。4ページをお開きください。中央図書館の業務報告につきましては、9月8日と9月22日に文化講座の第1回目と2回目を行い、それぞれ38人と70人の参加をいただいております。行事予定につきましては、9月29日に同じく文化講座の第3回目を、10月6日に第4回目、10月13日に最終回である第5回目を行う予定としております。

次に、5ページをお願いいたします。5ページ上段、みつぎ子ども図書館「すくすく」の業務報告につきましては、記載のとおりでございます。なお、9月11日から14日までを特別図書整理期間として休館をいたしました。行事予定につきましては、記載のとおりでございます。

続いて、5ページの下段です。瀬戸田図書館の業務報告につきましては、8月21日から24日に瀬戸田中学校の職場体験学習を行い、生徒1名を受け入れて行っております。行事予定につきましては、記載のとおりでございます。

次に、6ページをお願いいたします。因島図書館の業務報告につきましては、9月24日に秋の読書習慣行事として、切り絵と音楽を合わせた読み語りをを行い、120人の参加をいただいております。行事予定につきましては、9月30日に「天明天保の飢饉、尾道もざわついた」と題した講演会を行います。

続きまして、7ページです。向島子ども図書館「わくわく」の業務報告につきましては、8月28日から31日に向島中学校の職場体験学習を行い、生徒2名の受け入れを行っております。行事予定につきましては、記載のとおりです。以上でございます。

○加来因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。因島瀬戸田地域教育課の業務報告並びに行事予定を御報告いたします。8ページをごらんください。

業務報告につきましては、記載のとおりでございます。ブロック塀改修の進捗状況についてですが、重井小学校の外周、瀬戸田中学校の外周のうち自転車置き場周辺、因島南中学校駐車場擁壁上部については改修が終了し、瀬戸田中学校の正門周辺、重井幼稚園外周、田熊市民スポーツ広場外周につきましては、現在改修作業を進めておりますが、業者が災害復旧で多忙のため、工期が当初より延長になる傾向があります。

行事予定につきましては、9月定例会で補正予算として議決いただきました重井小学校プールのブロック塀改修の入札を10月中旬に予定しております。以上でございます。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。美術館の業務報告並びに行事予定を報告いたします。9ページをごらんください。

まず、業務報告でございますが、9月22日から始まりました特別展「旅する文人、小林和作」を開催しております。9月22日にオープニングカットを9時から行いまして、その後10時より高橋玄洋先生による特別講演会を開催いたしました。そして、小林和作特別展の図録を市内の小中学校に各3冊配布させていただきました。

行事予定でございますが、10月6日尾道学研究会との連携によりまして元尾道市立土堂小学校校長の西原通夫先生の朗読会「和作放談」を行います。10月13日、尾道灯りまつり協賛の夜間開館として20時まで開館をいたします。10月14日、小林和作特別展の中で和作茶会、流派茶道速水流滌源会尾道支部のお茶会を開催いたします。

圓鍰彫刻美術館につきましては、記載が漏れておりますが、行事予定といたしまして10月13日に広島交響楽団アンサンブルコンサートを開催いたします。平山郁夫美術館につきましては、記載のとおりでございます。以上です。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。学校経営企画課に係る業務報告並びに行事予定について報告いたします。10ページをごらんください。

まず、業務報告についてですが、9月14日、18日に臨時校長会議を行いました。これは、新任校長に対し来年度人事異動希望調書への取組について説明を行うものでした。9月20日から9月27日まで、業績評価（自己申告）に係る校長面談を行っております。上半期の自己評価と下半期の手だてについて説明していただきました。9月21日と27日には、1学期に延期になっておりました東部教育事務所全校訪問を行いました。21日は向島中、27日は向東中と重井中を訪問しております。なお、18日と26日については日程調整を行った後、訪問校はなしということになっております。

それから、記載漏れで大変申しわけございません。秋の運動会、体育大会を3校行いました。追記をお願いしたいと思います。まず、9月8日に予定しておりました御調中学校は、雨天のため12日に実施いたしました。それから、9月15日に吉和中学校、23日に御調西小学校は予定どおり実施しております。その他は記載のとおりです。

続いて、行事予定についてですが、9月28日と10月1日に引き続き校長面談を行います。10月2日から残り15校の東部教育事務所全校訪問を行ってまいります。10月3日、小中学校校長会を開催いたしますが、ここでは平谷市長に講話をしていただく予定となっております。そのほかは記載のとおりです。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。教育指導課に係る業務報告並びに行事予定について御説明申し上げます。11ページをごらんください。

初めに、業務報告です。9月8日から10日まで、第66回尾道市子ども科学展を市民センターむかいしまココロで行いました。今年度は5,768点の応募があり、そのうち411点を展示しました。2日目の9月9日日曜日は、警報が発令されたこともあり、予定をしておりましたおもしろ実験教室は中止し、展示のみでの実施ではありましたが、初日の8日の土曜日を上回る来場者がありました。9月21日、久保中学校、長江中学校、栗原中学校、浦崎中学校を皮切りに2学期の授業公開並びに公開研究会が始まったところです。

続いて、行事予定です。第2回「学びの変革」推進協議会を小学校は10月1日に瀬戸田小学校で、中学校は10月9日因北中学校を会場に行います。推進協議会で学んだことを生かし、各学校で主体的、対話的で深い学びが実現し、学力の向上につながることを期待しております。10月17日、尾道市小学校音楽コンクール、10月18日、尾道市中学校音楽コンクールを今年度はいずれもしまなみ交流館を会場に行います。現在各学校では、美しい歌声を響かせようと練習に励んでいるところです。以下は記載のとおりです。教育指導課からは以上です。

○**佐藤教育長** ありがとうございます。

ただいまの報告について御意見、御質問はございませんか。

○**村上委員** 図書館についてお聞きします。毎月入館者数と貸出冊数が記載してあるのですけれども、このデータはグラフにするなど、その後何かに利用されるのですか。

○**内海生涯学習課長** 教育長、生涯学習課長。最終的に図書館要覧を作成いたしましたして、年間2回の図書館の会議があるのですけれども、その会議の中で冊子にしたものを見ていただいているという状況でございます。

○**村上委員** せっかくこういうデータを入れていただいているのですから、エクセルなどで、例えば棒グラフとか折れ線グラフで毎月の推移がわかるようにしていただければ非常にいいのではないかと思います。例えば、今月はすごく多いとか少ないということになれば、その原因もわかるのではないかと思います。

○**内海生涯学習課長** 例えば、昨年度と比較する……。

○**村上委員** それに加えて、毎月、先月との比較ができれば、例えばすごく少なかったらこの行事が人気なかった、あるいは人気があったということで、次の業務内容に反映できるのではないかと思います。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。これは図書館の指定管理を受けていただいている業者とも協議をして、もしそのような形でこの会議に出すことが可能であれば、そういった資料提供は可能と思います。検討させていただきます。

○村上委員 わかりました。

○佐藤教育長 ほかにございませんでしょうか。

○中田委員 耐震対策についてお聞きします。土堂小学校の検討業務が年明けの1月まで続くようになってはいますが、この間長江小と久保小は、統合の絡みもあるかと思うのですが、この土堂小の検討結果中に何か予定はあるのでしょうか。それとも、この土堂小の結果を待って、前に進むということでしょうか。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。土堂小学校の耐震補強設計業務については、今検討させていただいておまして、議会でも早ければ7月下旬ごろには見通しがつくのではなかろうかと申し上げていたのですが、まだその結論が出ていない状況です。それは、校舎の中の耐震補強は教室の間仕切り壁の補強等が必要でして、その検討にまだ時間を要しているところです。

土堂小学校の現在地での耐震補強が困難、できないということになれば、これまで市教委から御説明等をさせていただいておりました長江中学校での長江小学校と、土堂小学校の移転改築を案の一つとして地元にも再度お話をさせていただければと考えております。

それから、もう一つの選択肢としましては、もし土堂小学校が現在地での耐震補強ができないということになれば、久保小学校での3校の統合も選択肢の一つと答弁をさせていただいております。以上です。

○佐藤教育長 ほかにどうでしょうか。

それでは、私から安藤主幹に聞きます。空調について、向東小学校と向島中学校、それから因北小学校はもう完成していますが、既に使用したという実績はあるのでしょうか。少し涼しくなっているから、整備したけれども使用していないのか、活用しているのかがわかるでしょうか。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。例年10月中旬まで暑い日が続くものですから、それまでに市の完成検査を行いたいと思っております。実際に市の完成検査は今日と明日の2日間で行う予定ですが、それよりも前に工事はほぼ終了しております。学校で試運転のような形で使っているかという御質問だと思いますが、今涼しい日が続いておまして、

学校においては試運転はなされていないと聞いております。

市の完成検査が明日には済みますので、今後暑い日が続くようであれば庶務課がお示しをしております一定の温度を超えるような場合に使っていただくことを想定しております。以上です。

○加來因島瀬戸田地域教育課長 教育長、因島瀬戸田地域教育課長。9月25日の因北小学校の完成検査には、私が行って教頭先生とお話しをしたのですが、試運転後は涼しいから全く使っていないという回答を得ております。以上です。

○佐藤教育長 整備したのに残念だな。

○中田委員 暖房も使えるのですよね。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。冷房と暖房の機能は両方とも兼ね備えてはいるのですが、暖房と冷房の光熱水費、ガス代も含めて試算をしましたら、冷房はクーラーで、暖房は従前どおりストーブの使用のほうが安価であるという試算ですので、当面は冷房のみの使用を考えております。

ただ、中学校で40人近い教室の場合には、ストーブすら置けない状況の学校も中にはあるようですので、そのような学校は暖房も空調で使っていただくことはやむを得ないと考えております。以上です。

○奥田委員 空調に関しまして以前説明いただいたのかわかりませんが、特に今年の夏は非常に暑くて、早くエアコンを各小学校、中学校の教室に導入すべきだということが全国的にも議論されましたが、尾道市におきましては最終的に全て配置されるのはいつでしょうか。

○安藤主幹（学校施設整備担当） 教育長、学校施設整備担当主幹。現在教育委員会が目指しておりますのは、来年の8月末までを目途に計画しております。以上です。

○奥田委員 8月31日ということですね。せっかくですから、何とか努力いただいて7月の頭にできればベストだと思います。

○豊田委員 学校統廃合のことをお聞きします。土堂小学校の耐震工事が可能であるかどうかについては、まだ調査中ということで、来年の4月からは今までどおりということのようですが、もうずっと以前から統廃合については、土堂、長江地域の住民の方との話し合いを何度かされていると伺っているのですが、次の年に向けての話し合いはどのようなのでしょうか。

すぐにというわけにはいきませんので、来年の4月は今までどおりとしても、その次の年になりますと長江小学校は耐震工事をしないと危ないですよ。だ

から、そういうことも含めてどういう形で統廃合が進むのか。新聞報道では単独で3つと、2つと1つと、3つ一緒という3案が出ておりましたけれども、少しずつ話し合いが地域住民やPTAを中心に進められているのかどうか、お伺いしたいと思います。

○**安藤主幹（学校施設整備担当）** 教育長、学校施設整備担当主幹。これまで地元の役員さん方、あるいは学校のPTAの役員さん方、あるいは保護者の方に説明をしてきました。ただ土堂小学校の耐震補強の結果が、まだどうなるか見通しがついてない状況ですから、該当する3校に具体的にこういう場合はどうなるという仮定でのお話がしづらい状況でございます。まずは土堂小学校について、市としての方向性を出した上で、該当する学校への御説明をさせていただければと考えております。以上です。

○**豊田委員** 期限をある程度切って話し合いが進められるのでしょうか。土堂小学校の方向性がいつ出るのかわかりませんが、今年度中には出ますよね。出てからということにはなるのでしょうか、子供の安全にかかわることですので早く進めていかないといけないと思います。

○**安藤主幹（学校施設整備担当）** 教育長、学校施設整備担当主幹。土堂小学校の耐震工事ができるのかという結果については、市も子供の安心安全にかかわることですから、できるだけ早くということで議会でも答弁させていただいております。今もそのような気持ちでできるだけ早く結論を出した上で、関係する学校等と協議をさせていただければと考えております。

○**豊田委員** 続けてお聞きします。先ほど説明がありましたが、先日、子ども科学展に行かせていただいたのですけれども、子供も保護者も非常にたくさんの方が参加されておりました。おもしろ実験室は、理科が専科の中学校の先生だと思っておりますが、非常に難しい科学をみやすくおもしろく、子供たちにわかるように話を進めておられました。せっかく科学展にいい作品がたくさん出展されておりましたので、何か学校へ還元できる方法はないのかと思いました。優秀作品についてはまとめて学校へ順番に回して見せるとか、せっかくですので、あそこへ展示して終わりというのではなく、各学校がそれを受けてさらに次の年に向けて科学研究がしたいというような誘発的な行動ができないかなと強く思いましたが、いかがでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。子ども科学展での優秀作品などの各学校への巡回についてですが、優秀作品は県の科学展に出品しますので、そちらで受賞される可能性もあり、そのタイミングを見る必要があります。現在は、子どもの作品集である「結晶」を作っておりますので、そちらで幾らかの

優れた作品を見ていただいています。

市内の優れた作品を本当は各学校で芸術祭のような形で展示をして回ればよいのかもしれませんが、なかなか県の科学展への出品の関係がありますので、今のところ具体的に話は進んでおりません。ただ、県の優れた科学作品を教育センターなどに借りてパネル展を実施するなど、優れた科学研究の作品を見ていただく機会は設けているところです。

○**豊田委員** 学力テストに理科も入っていますが、ただ、知識、技能といった面だけの学習ではなく、子供たちが主体的に学ぶということになれば、そういう知識、技能を中心にしながら身の回りにある不思議だなと思うことに課題を持って取り組んでいく、そういう子供たちを育てていくことが理科教育をさらに進めることにつながると思うのです。

そうすると、方法はいろいろあると思いますが、センターの優秀作品が展示してありましたし、とてもいいことだと思いました。できればぜひそういう子供たちをもっと増やすという意味で学校巡回という方法もとってみればいいのかなという気がいたします。これは希望です。以上です。

○**佐藤教育長** ほかにございますか。

○**奥田委員** 教育指導課にお伺いします。「学びの変革」推進協議会の2回目が10月1日に小学校、10月9日に中学校で開かれます。これに教育委員は参加させてもらってもよろしいのでしょうか。もし可能であれば、先進的な学びの変革をどのように進めておられるのか、これは市内の学校をリードする一つの動き、会議になると思いますので、研修会にできれば参加してみたいと思うのですけれども、どうでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。「学びの変革」推進協議会は、教育委員の皆様も御参加いただくことは可能だと思っております。いずれも午後からの開催になっております。主な共通する取組としては、カリキュラムマネジメントを実施しまして、課題発見、解決学習の促進に向けてどのように授業を行っていくかということでございます。

瀬戸田小学校、因北中学校、いずれにおいても総合的な学習の時間を授業参観していただき、その後協議を行い、県の教育委員会からも御指導をいただき、年度後半の各校の取組に活かしていくという構成になっております。

冒頭申し上げましたように、参加は可能でございますので、また実施要綱をお渡しさせていただけたらと思っております。

○**奥田委員** よろしくお願ひします。

○**佐藤教育長** ほかにございますか。

○村上委員 美術館のことでお伺いします。小林和作展の目標の入場者数を教えていただきたいのですが。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。1日100人から200人までの間を予定しております。

○村上委員 100人から200人ということは、最終的には倍半分という感じですね。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。資料が今手元がないので、次回の回答でよろしいでしょうか。

○村上委員 次回でよろしいです。この小林和作展を開催するに当たっての収支目標です。公の事業ですから絶対黒字にならないといけないということではないが、大体どのくらいの赤字になるとか、黒字になる予定ですか、その程度で結構なのでぜひ回答をお願いいたします。

○島谷美術館長 教育長、美術館長。はい、かしこまりました。

○佐藤教育長 ほかにどうでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 では、ないようですので、日程第1、業務報告及び行事予定を終わります。

次に、前回の定例会において御調こども図書館及び瀬戸田図書館で開催されたプログラミングワークショップについて質問をしたのですが、これについて回答をお願いします。

○内海生涯学習課長 教育長、生涯学習課長。このプログラミングワークショップについてですが、こちらは尾道市立図書館が主催をいたしまして、小学校3年生から中学校3年生までを主な対象者として全館で開催をするものでございます。

ワークショップの内容といたしましては、まず1人に1台ずつパソコンを配置いたしまして、初めにパソコンの操作方法を教わります。パソコンでゲームをしながらプログラミングの基本を学び、テレビや炊飯器などの家電、またゲームなど私たちの身の回りにある物はプログラミングで動いているということをもまず知っていただきます。

次に、誰でも簡単に楽しめるスクラッチというプログラミングソフトを使って、積み木のようにゲームのプログラミングを積み立てていき、自分だけのゲームづくりに挑戦をいたしました。見た感じは、画面上に動物、猫がおりまして、それを自分が好きなように動かしていくというようなプログラムをつくっていくものでございます。2時間という講座でしたが、あっという間に時間が

過ぎ、もっとやりたいという声が上がったということでございます。

実施の実績としましては、8月16日の因島図書館は13人、うち小学生が6人、中学生が4人、大人は保護者がついてきていると思います。御調こども図書館の8月17日は13人参加し、小学生が8人、中学生は1人でございます。中央図書館では8月24日に行い、14人参加し、うち小学生が10人。瀬戸田図書館は8月25日に行い、15人が参加し、うち小学生が11人でございます。10月27日には向島こども図書館で行う予定でございます。以上でございます。

○佐藤教育長 ありがとうございます。この情報は、教育委員会の学校教育部とも共有されていて子供たちにどんな意味合いがあるのか、全くないのか。再来年からのプログラミング教育を意識された計画だったのか。効果がどうだったのかということのはっきりわからないけれども、そういう関連性については情報もなかったし、特段興味もなかったということではないのでしょうか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。開催をするということについては教育指導課へ中央図書館から御連絡がありまして、教育指導課から各学校へ案内をしております。開催日や内容について教育指導課では把握しておりました。開催後の状況については、生涯学習課と連携をとっておりませんでした。

○佐藤教育長 せっかく指定管理の図書館において、こういった先を見通した企画があり、2年後にそういったプログラミング教育があるわけだから、教育委員会として率先してそういったことに関心を持ってもらうようなアプローチの仕方をすべきだったのか。内容的にそうではなかったのかという判断をそこに入れたのか入れていなかったのか。入れるべきだったのか入れるべきではなかったのか。そのあたりをどう捉えたらいいのかわからないので、教えてもらいたい。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。再来年度からプログラミング教育が小学校で始まりますので、必要性は当然認識をしておりました。お話をいただいたときには教育指導課から案内をするほうが学校から子供や保護者に向けて配布するに当たり、よりたくさんの子供たちに来てもらえるという思いがありました。ただ、今教育長が言われましたとおり、もう少しその重要性を認識して丁寧な周知が必要であったと思っております。

○佐藤教育長 今後は、内容を確認して一定の判断をすることが必要だと思います。今回の参加人数では、学校も親御さんや子供も特に重要だという位置づけにはしていなかったと思うのだが、これはそういう捉えになりますね。

今後は、そういう情報提供があれば、事務局だけではなく学校とも情報を共有しながら、せっかく指定管理といえども公の施設で運営するわけですし、集

客にもつながっていくという相乗効果も我々としては考えなければならない話だから、そのあたりは意識を持って対応してほしいと思います。以上です。

ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 それでは、日程第2、議案の審査に入ります。

議案第48号尾道市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案を議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。議案第48号尾道市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案について御説明いたします。議案書12ページをお開きください。

このたびの改正は、栗原北小学校の通学区域の一部改正でございます。広島法務局では、平成25年度から山地番の変更作業を行っており、今年度は栗原町外3町、久山田町、美ノ郷町、瀬戸田町の一部の山地番が変更されます。現行では、栗原北小学校の通学区域のうち一部栗原町と美ノ郷町三成の山地番の区域が含まれており、このたび規則改正が必要となりました。

具体的には、山地番に2万番を加算して登記簿が変更されますので、それに適応するための表記を追記し、整合性を図るものでございます。以上、規則改正について御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

○佐藤教育長 ありがとうございます。ただいまの説明に対して御質問等ありますか。

これは、いつまで続くのですか。毎年のように山地番を見直していますが、年次計画はありますか。

○豊田教育指導課長 教育長、教育指導課長。来年度が最後の作業になります。来年度は御調町が対象になるということです。

○佐藤教育長 来年度までこのような変更があるということですね。ありがとうございました。

ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 では、ないようですので、これより議案第48号を採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認すること

に決しました。

次に、議案第49号土堂小学校学校運営協議会委員の委嘱についてを議題といたします。

提案理由の説明をお願いします。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。議案第49号土堂小学校学校運営協議会委員の委嘱について御説明いたします。15ページをお開きください。

本議案は、土堂小学校学校運営協議会委員を別紙のとおり委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものです。提案理由についてですが、土堂小学校学校運営協議会委員の任期満了に伴い、尾道市学校運営協議会規則第7条に基づき、別紙のとおり委員を委嘱するものです。16ページをごらんください。

土堂小学校学校運営協議会委員の委嘱期間は、今回10月1日から平成31年3月31日までとなっております。これは、平成17年10月1日に初めて委員を委嘱し、任期をこれまで1年としていたため、翌年の9月30日までを委嘱期間としておりました。しかし、平成30年4月1日に尾道市学校運営協議会規則の改正を行い、第9条に委員の任期は任命された日から当該年度の3月31日までとし再任を妨げないとなったため、今回は平成31年3月31日までの委嘱としております。

また、尾道市学校運営協議会規則第7条により、協議会の委員は10人以内とし、次に掲げる者のうち保護者、地域住民、対象学校の運営に資する活動を行う者、学識経験者、その他教育委員会が適当と認める者から教育委員会が任命するとなっております。今回の委嘱については、再任8名、新任2名でございます。内訳は男性7名、女性3名の計10名で、平均年齢は54.4歳となっております。女性の割合は30%でございます。

なお、土堂小学校学校運営協議会委員は10人の委嘱を今回お願いしておりますが、そのうち育友会会長経験者が半数の5名を占めている状況です。来年度の委嘱については、構成人数や委員の人選等課題を整理しまして、よりよい学校運営協議会となるよう検討をまいります。御審議の上、御承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対しまして御意見、御質問ございますでしょうか。

○中田委員 保護者委員の方は4月1日の移動でうまくチェンジできるのでしょうか。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。今年から向東も小中学校が一緒の学校運営協議会ですけれども、多分4月の終わりぐらいのPTA総会で改正すると思うのですが、それまでの見込みで委員の委嘱をさせていただいておりますので、今後もそういった方向性を持って、多分1号委員は選んでいくようになると思っております。

○中田委員 わかりました。そうしないと、4月に変えて、また5月にすぐ交代の議案になると思いましたので。

○佐藤教育長 ほかにございませんか。

○村上委員 先ほど構成員の割合を若干考える、検討するということだったのですが、それは育友会の方が5名いるからそれを少なくするということですか。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。そういった面も一つはございます。10名のうち5名が育友会会長で、これは名誉職のような雰囲気もあると思っております。そのほかにも5号委員の方が現在3名いらっしゃいます。教育委員会が適当と認める者ということで3名、これまで地域や学校に貢献をいただいている方なのですけれども、これらの1号委員から5号委員のあり方とか、先ほど言いました育友会のメンバー等も全てを一回ゼロベースに考えて構築していきたいと考えております。

○村上委員 わかりました。あと、学校運営協議会が設置されている学校は向東と土堂だけだと思うのですけれども、今後の予定としてどのように増やしていくか、全部に広げるのか、どのような計画がおありでしょうか。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。法改正により、設置が努力義務ということになっておりますので、本市におきましても設置に向けて努力をしていくつもりであります。

今年度の取組状況としましては、瀬戸田小学校、瀬戸田中学校に対して、来年度に向けて校長等に話をしている状況です。これがうまくまとまれば、地域代表の方とかにいろいろと取組をしまして、来年度に学校運営協議会の設置となるかもしれません。今のところ、来年度必ずできるということにはなりません。努力をしていきたいと思っております。

○村上委員 学校運営協議会委員は強い力を学校の中では持っていると思うのですけれども、校長先生の反応を、もしお話できるのであればお聞かせ願いたいのですが。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。土堂小学校の場合には、平成17年度から行われていますので、もうあうんの呼吸のような形でやられております。学校の中の一部として運営協議会が機能していると思えます。

向東地区につきましては、昨年度まで小学校だけだったものが、今年度小中学校一緒の学校運営協議会になっております。そのため、小学校の校長、中学校の校長と運営協議会の連携が大変だと聞いております。今、試行錯誤しながら私どももいろいろな御相談をいただきながら進めておりますので、今年一年間は試行実施のような雰囲気を見ていきたいと思っております。

校長先生とすれば、今の段階でこの運営協議会、小中一緒のほうがありがたいという声までは聞いておりませんが、これを有効に学校経営に活かしていきたいという思いは持って進めておりますので、私どもも後押ししていきたいと思っております。

○村上委員 わかりました。よろしく申し上げます。

○佐藤教育長 ほかに。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 ないようですので、これより議案第49号を採決します。

本案は原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 御異議なしと認め、本案は全会一致で原案のとおり承認することに決しました。

以上で日程第2の議案の審査を終わります。

次に、学校経営企画課長から久保中学校における山波地区生徒の通学費補助金の誤交付についての報告をしていただきます。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。それでは、9月14日に報道発表いたしました久保中学校バス通学生徒に係る平成29年度分通学費補助金の誤交付について報告いたします。

まず、概要についてです。久保中学校では、山波地区から通学する生徒は危険なため自転車通学ではなくバス通学としております。そのため、市から通学費の補助金として定期購入金額の3分の1を年3回補助しております。今事案は、平成29年度1学期分4月から7月分、2学期分9月から12月分の補助金額について交付額に4件の誤りがあることが判明いたしました。内訳は、不足交付2件、2学期分2,260円が2件で合計4,520円でした。超過交付は2件、1学期分180円が1件、660円が1件、合計840円でした。

次に、経過についてです。9月11日火曜日14時ごろ、久保中学校保護者より久保中学校へ平成29年度2学期分補助金の交付額に誤りがあるのではないかと問い合わせがあった旨、当該校より連絡を受けました。9月11日火曜日20時ごろ、事務担当者が昨年度全学期の交付額を確認したところ、4件の誤りがある

ことが判明いたしました。9月12日水曜日17時30分、久保中学校へ訪問し、校長、教頭、事務長に対し、経緯の説明と謝罪を行いました。9月12日水曜日、13日木曜日、該当保護者へ電話にて経緯の説明と謝罪を行うとともに、自宅へ訪問し経緯の説明と謝罪を行いました。9月19日水曜日、不足交付分2件の交付、超過交付分2件の返還が終了いたしました。

次に、今後の対応についてです。本件の主な原因は、金額の誤入力によるものです。今後は事務の取り扱いについて細心の注意を払うとともに、複数人での確認や係長も含め組織として確認の徹底を図り、再発防止に努めてまいります。また、その他の原因として、本件に係る事務処理の複雑さが考えられます。現在、平成10年3月より施行しておりますバス通学生徒に係る通学費補助金交付事務処理要領に基づいて事務処理をしておりますが、保護者、学校、市教委がそれぞれにメリットのある制度となるよう見直し、改善に向けた検討を進めてまいります。今回はまことに申しわけございませんでした。

○佐藤教育長 ただいまの説明に御質問等がありますでしょうか。

○奥田委員 誤交付についての説明がありましたが、毎回こういう不祥事案が出るときには、結局はチェック体制が必ず必要ということが言えると思います。1人で入力した場合は、必ず誰でも人間は間違いを起こすわけで、それを前提として上司も含めて複数でチェックする体制をしっかりとつくるということがこういうミスをなくすことになると思いますので、事務局での徹底をよろしく願います。

また、これは平成29年度の補助金の交付ですが、平成30年の今ごろに行われるということで、かなりタイムロスといいますか時間的にも大分たっているなという感じもあります。そういうところも含めて、組織的な事務処理要綱のシンプルな運用といいますか現実的な運用も、また御検討いただければと思います。以上です。

○佐藤教育長 ありがとうございます。

○村上委員 この事務処理要領の改正手続はどのように行うのでしょうか。

○小柳学校経営企画課長 教育長、学校経営企画課長。これは、教育委員会規則の中にありますので、また教育委員会の中で諮るようになります。

○村上委員 わかりました。なるべくシンプルで間違いのないものにしていただきたいと思います。

○佐藤教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○佐藤教育長 それでは、ないようですので、その他として今回の議案や日程等

にかかわらずとも結構ですので、委員さんから何か御意見等がございますでしょうか。

○**奥田委員** 教育指導課長さんにお伺いします。本年度の基礎基本調査の結果が出ています。それについて、事務局としてどういう分析をされたのか。この教育委員会会議の場にはまだ出ていないと思いますので、出していただいて、昨年度と比べてどういう傾向があり、どこに課題があり、今後どのように進めていきたいかということ、オープンになっている数値をベースに説明いただければと思います。次回の教育委員会会議で結構ですので、どういう方向で進めるかということ、説明いただきたい。

新聞報道では、小学校はアップし、中学校も幾らかアップしたということですが。ただ少しよくなったと満足するのではなくて、より尾道市内の子供が力をつけるということが我々教育委員会の使命ですので、どういうところを課題としてどのように進めていくかという、事務局の方針をまたこの会議の場で報告いただければと思います。以上です。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。教育指導課としても一定の整理をして、これからもサブリーダー研修会等で話をしていきますので、そういったことをもとに教育委員会会議の場で御報告させていただきます。

小学校は国語も算数もB問題がかなり伸びておりまして、B問題が伸びるということは特に国語はこれからの学力の基盤になりますので、このまましっかり鍛えていければ中学校でも伸びていくのではないかと考えております。一定の傾向で整理をしておりますので、また御報告させていただきます。以上です。

○**佐藤教育長** ほかにございませつか。よろしいですか。

○**中田委員** 市内でイノシシ被害が出ていることについて、何か試験的に電波か超音波のような機械を置いてイノシシを撃退するということが試験的にされているようですけど、逆に民家や畑から逃げたイノシシが通学路に出て事故があったら本末転倒なのかなと思いました。その設置は農林水産課がされているようですけども、場所によって、畑や民家を守ることはもちろんいいことだと思うのですが、ただそれはそこから逃げるだけなので、その裏に通学路があったりしたら心配だなと思いました。その辺を学校でも把握してはいかがでしょうか。

○**豊田教育指導課長** 教育長、教育指導課長。この半年の間にもイノシシが出たという情報はいただいております。そのときには、教育委員会から該当の学校へ連絡をして子供たちに注意喚起をしていただくようにしております。

ただ、今イノシシ対策でそのようなことがとられているということは、把握

をしておりませんので、農林水産課に連絡をして、イノシシが逃げて逆に子供たちに危険が及ぶようなことになってはいけませんので、その辺の対応や配慮について確認してみたいと思います。以上です。

○中田委員 わかりました。

○佐藤教育長 ほかによろしいですか。

○豊田委員 西日本豪雨災害のときに、水の供給が各地区で行われ、中学生がボランティアとして給水所に参加していました。私も何度か行ったのですが、僕が持ちますからと言って、とても感じよく積極的にボランティア活動をしていました。

学校教育ですから学力の向上ももちろん大事ですし、そういった心の教育の面でボランティア活動を通して子供たちが学んでいく面も大きいと思います。向東や日比崎などで聞きましたが、そういうことが各地でなされたことに対して非常に素晴らしいことだと思いました。だから、そういうことをキャッチして子供たちの成長を見取り、励ましながら、尾道の子供たちの気質を高めていくということを大事にした教育をしていきたいものだと思いました。とても感動した一コマでした。

○佐藤教育長 ありがとうございます。ほかにございますか。

ないようでしたら、以上をもって本日の日程は終了しました。

これをもって本日の会議を散会すると同時に、第11回教育委員会定例会を閉会いたします。

なお、次回の定例教育委員会は10月23日火曜日午後2時30分からを予定しております。

お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午後3時40分 閉会